

## 5.2 オープンキャンパス

### (1) 工学部オープンキャンパス

令和4年度の工学部オープンキャンパスは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により当初予定の8月6日(土)が延期となったが、事前登録制そして感染拡大防止対策を十分に講じた上で、8月27日(土)に全学で唯一対面により開催した。なお当日参加者は848名であった。昨年度と同様に理学部と共同で作成したホームページを活用し、恒常的に確認が可能なコンテンツとして学科紹介や研究室に関するコンテンツ(PDF)はダウンロードできるようにした。当日の開催内容は最小限のものとし、午前の部と午後の部に分け、各学科による研究室公開を中心に行った。

土木建築学科の土木系では7研究室のパネル展示と4研究室の実験・演習の見学の他、ましきラボ、熊助組の活動を展示。建築系では環境系の緑化展示や構造・材料系の実験用モックアップ、設計演習の建築模型、CAD授業の作品展示等を行った。

機械数理工学科では11テーマを公開し、学科学生会が受付と案内を担当。朝昼とも受付時に多くの高校生が集まった。人数制限した教室では入場待ちの列ができるなど、以前に比べて積極的に質問する高校生が多かった。

情報電気工学科からは、バーチャルリアリティ、人工知能、静電気、アンテナ技術やヘルスマニタ等の合計7件の展示を行った。高校生らは実際に装置を触ったり大学院生に質問したりと楽しんでいる様子であった。

材料・応用化学科では、200名超の来場者があり、マグネシウム合金、電子顕微鏡の世界、環境や健康に役立つ機能性材料の研究に興味が集まった。高校3年生も多く、現役大学生への学生生活に関する積極的な質問も見られた。

多くの高校生は入学以来一度も対面でのオープンキャンパスを経験していないとのことで、進路選択に関して貴重な機会となったようである。参加の高校生から、この状況での対面開催に感謝の言葉もいただいた。